

様式第4号（第5条関係）

政務活動費収支報告書

令和4年4月8日

盛岡市議会議長

竹田浩久様

議員氏名 大谷陽介

盛岡市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項および第2項の規定により
令和3年度の政務活動費の収入及び支出について別紙のとおり報告します。



別紙

1. 収支の状況

項 目		金 額	主な実施事業内容
収 入	政務活動費 ①	600,000 円	
	調査研究費	円	
支 出	研修費	7,000 円	市政調査会拠出金
	広報費	473,334 円	市政レポート印刷・ポスティング料
	広聴費	円	
	会議費	円	
	資料作成費	円	
	資料購入費	円	
	人件費	円	
	事務所費	円	
	支出合計 ②	480,334 円	
	差引残余 ①-②	119,666 円	

政務活動費支出簿

使途項目	研修費
------	-----

支出年月日	支出金額	摘要	備考
R3. 12. 15	7,000 円	市政調査会	
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合計	7,000 円		

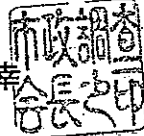
様式第7号

政務活動費支払伝票

使途項目	研修費	支出日	R3. 12. 15
------	-----	-----	------------

支出証拠書類の額面金額	7,000	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	7,000	円
【支払概要】	令和3年度市政調査会拠出金	

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

領 収 書
大 谷 陽 介 様
一 金 7,000円 也
令和3年度市政調査会拠出金として、上記のとおり受領しました。
令和3年12月15日
盛岡市市政調査会 会長 遠藤 政幸


政務活動費支出簿

使途項目	広報費		
支出年月日	支出金額	摘 要	備考
R3. 8. 6	157,300 円	市政レポート印刷代	
R3. 8. 6	72,447 円	市政レポートポストイング料	
R4. 2. 16	160,930 円	市政レポート印刷代	
R4. 2. 16	82,657 円	市政レポートポストイング料	
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合計	473,334 円		

様式第7号

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	3.8.6
------	-----	-----	-------

支出証拠書類の額面金額	157,300	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	157,300	円
【支払概要】	市政レポート印刷代	

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

領収書

2021年08月06日
No. 20210804-002

大谷陽介事務所様

金額 ￥157,300-

但: 市政レポートvol.2 印刷制作費として

上記正に領収いたしました

小計	¥143,000
消費税(10%)	¥14,300

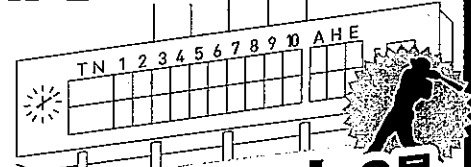
星の井堂
高橋 志穂

〒020-2831
岩手県盛岡市三本柳2-1-5



大谷ようすけ

市政レポート 2号



盛岡市議会議員・大谷ようすけ
2021年上半期の活動をご報告します。

経済対策、教育分野、スポーツ振興 盛岡の市政運営について鋭く切り込む

新型コロナウイルス感染症の収束に向けたワクチン接種が始まり、暗闇の中に一筋の光明が見えたように感じます。ワクチン接種が進むことを歓迎しながらも、社会活動が通常に戻るためには、ワクチン接種の早期完了と、治療薬の開発が急がれます。

この度、大谷ようすけ市政レポート第2号を発行いたします。今号では3月定例会、6月定例会での議員活動の一端を報告します。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策、事態の収束に向けた取り組みはもちろんのこと、経済対策、アフターコロナを見据えた市政運営について市当局に鋭く切り込みました。一日も早い事態収束を願い、日々奮闘する大谷ようすけの活動をご覧くださいませようお願ひ申し上げます。

市政に関する要望、意見などございましたら、いつでもお声がけください。皆様からの声を盛岡市に届けます。

3月と6月に行われた市議会定例会の一般質問で次の内容を提言しました。



3月定例会一般質問

- 飲食店をはじめとする市中の経済対策
- エイト・オリンピックズ・プロジェクトの進捗
- 将来のオリンピック種目を応援
- 受動喫煙防止対策強化の状況

6月定例会一般質問

- 市が考える理想の教育を問う
- 情報発信の強化
- スポーツ施設、観光資源のPR

盛岡市の情報発信の強化

大谷

自然、歴史、食文化、また、温泉、ゴルフ・スキー場など観光資源が豊富な盛岡市。しかし、その魅力を伝える情報発信力が弱いように感じられます。アフターコロナの人流を見据えて、もっと魅力発信を。岩手に移住した、漫才コンビ「天津」の木村さんのブログでは、岩手の良さを随所に発信してくれています。大手ブログサイトのランキングで、お笑い芸人部門2位を獲得した木村さんに、盛岡の魅力発信してもらおうことはできないでしょうか。

答

これまでもタレントを活用したプロモーションをしてきた。幅広い層から支持され、全国的にも注目度が高まるなど、効果が大きいことは承知している。「天津」の木村さんは、大手ブログサイトのランキング上位に入るなど、若者から支持を得ている。イベントやPR大使としての起用など、積極的に取り組みたい。

盛岡タイムス2021年6月18日より転載

『あると思います』?!

16日の盛岡市議会一般質問で、盛岡市移住に力を入れていた天津木村さんについて質問をした。木村さんのブログでは、盛岡の魅力を随所に発信してくれています。大手ブログサイトのランキングで、お笑い芸人部門2位を獲得した木村さんに、盛岡の魅力発信してもらおうことはできないでしょうか。

移住者さん「天津」盛岡市議会でPR起用議論

盛岡市議会一般質問で、天津木村さんについて質問をした。木村さんのブログでは、盛岡の魅力を随所に発信してくれています。大手ブログサイトのランキングで、お笑い芸人部門2位を獲得した木村さんに、盛岡の魅力発信してもらおうことはできないでしょうか。



過去の一般質問はこちらでご覧になれます▶

市が考える理想の教育を問う

大谷 令和3年4月、岐阜市に開校した不登校特例校に寄せられたスピーチから「学びの選択肢がいろいろある」ことが、子どもにとって理想の教育なのではないか、と考えさせられました。盛岡には、不登校特例校はありませんが、「適応指導教室 ひろばモリーオ」のように多様な生き方を尊重する土壌があると思います。市長、教育長が考える理想の教育とは？

答

「多くの先人を育ててきた美しいふるさと盛岡を愛し、豊かな心と健やかな体を持ち、自ら学び、共に生きる未来を創る人」を具現化していくことが理想の教育であると考えます。不登校児童生徒は増加傾向にあり、不登校対策は市の重要課題。組織的かつ、きめ細かな対応が急務だ。

盛岡市の不登校児童生徒数（人）

	小学生	中学生
平成30年度	84	235
令和元年度	87	227
令和2年度	103	247

●「適応指導教室 ひろばモリーオ」とはさまざまな理由から学校に行けない子どもたちの社会的自立や主体的な学校復帰を支援する盛岡市内の小中学校に在籍している児童生徒のための施設。青山教室と仙北教室があります。

飲食店をはじめとする市中の経済対策

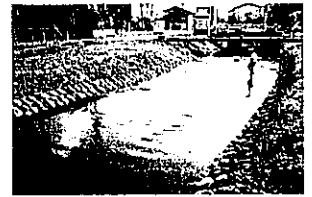
大谷 コロナ禍で、首都圏に緊急事態宣言が発出されると、盛岡においても飲食・旅行・外出を「控えるマインド」に。盛岡の市中経済は、飲食店を中心に落ち込みを続けています。1名や少人数での外食や外出を推奨したり、飲食店を応援する方法としてチップ箱（応援箱）を設けたりといった、支援対策について考えをお聞かせください。

答 市独自の経済対策につきましては、引き続き事業者からの意見やアイデアを伺うとともに、感染状況や経済状況を見極めながら、総合的に判断したい。

《現在進行中》

地域課題：南川の問題について

南川（国道4号東側・三本柳地域）の整備については、防災を目的とした2層構造の河川に改良されましたが、最近では、雑草が繁茂しており、市民の皆さまからご意見をいただいていた。そこで、県と市に改良を働きかけました。現在、川の水流の調査や実験をしています。



雑草を刈り取った後の南川

将来のオリンピック種目を応援

大谷 盛岡広域8市町で取り組んでいる「エイト・オリンピックズ・プロジェクト」の進捗をお示しください。また、eスポーツやアームレスリングなどに目を向け、将来的にオリンピック種目になる可能性のある競技やニュースポーツを応援してはいかがでしょうか。関係人口の創出にもつながると思います。

答 エイト・オリンピックズ・プロジェクトについては、盛岡広域全域で38名を対象選手として登録し、選手たちの近況や大会での成績を発信してきた。オリンピック競技に限らず、選手や団体を支援することは、市民のさまざまなスポーツに親しむ機会の拡大に有意義であり、効果的な支援を検討する。

《実現しました》

グラウンド接続道路への砂利敷設

令和2年冬に、太田橋グラウンドの接続道路に砂利を敷設しました。今年7月には、見前タイガースが使用している「津志田グラウンド」への接続道路に砂利の敷設を行いました。



砂利を敷設した津志田グラウンド接続道路（7月20日）

大谷ようすけの提案

攻める！ 守る！ 二刀流！



攻める！ スポーツ振興

市民全体で取り組むスポーツ、観るスポーツ、新しいスポーツを普及促進し、明るく元気な盛岡を実現します。

守る！ 医療・福祉の安心

病気の予防を最優先にし、病気や障がいを抱えても安心して暮らせるよう、医療・福祉の体制を守ります

守る！



農業と地域の絆

農業者の高齢化と農業地域からの人口流出が進む中、農業や地域の絆を守る活動を支援します。

攻める！



次世代の育成

未来の盛岡を担う世代が健やかに育ち、存分に学べるよう、育児支援と教育環境の充実に注力します。

大谷陽介プロフィール

昭和52年6月2日 盛岡市(旧都南村) 生まれ

- 学歴：津志田小学校→見前中学校→岩手高校
- 職歴：株式会社サンメディカル、株式会社三協医科器械
令和元年8月、盛岡市議会議員選挙初当選
- 家族：妻、子ども3人。大谷翔平選手とは親戚関係
町内活動を通じて、子育て、地域づくり、教育に取り組む
幼少期から野球・サッカーに励む。スポーツが大好き

OHTANI YOSUKE

大谷ようすけ事務所

〒020-0831
岩手県盛岡市三本柳4-4-33
TEL/FAX 019-618-8478
[Email] 210ryu.ohtani@gmail.com

Facebook



少年野球チームの紅白試合にて

様式第7号

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	3.8.6
------	-----	-----	-------

支出証拠書類の額面金額	72,447	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	72,447	円
【支払概要】	市政レポートポスティング料	

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

領収書

2021年08月06日

No. 20210804-001

大谷陽介事務所様

金額 ￥72,447 -

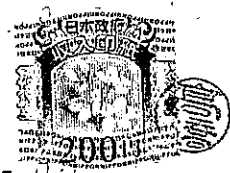
但: 市政レポートvol.2 ポスティング代として

上記正に領収いたしました

小計	¥ 65,861
消費税 (10%)	¥ 6,586

星の井堂
高橋 志穂

〒020-2831
岩手県盛岡市三本柳2-1-5



様式第7号

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	4.2.16
------	-----	-----	--------

支出証拠書類の額面金額	160,930	円
支出按分率(※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	160,930	円
【支払概要】	市政レポート印刷代	

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

領収書

2022年02月16日
No. 20220119-005

大谷陽介事務所様

金額 ￥160,930-

但: 市政レポートvol.3印刷製作費

上記正に領収いたしました

小計	¥146,300
消費税(10%)	¥14,630

星の井堂
高橋 志穂



〒020-2831
岩手県盛岡市三本柳2-1-5

様式第7号

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	4.2.16
------	-----	-----	--------

支出証拠書類の額面金額	82,657	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	82,657	円
【支払概要】	市政レポートポストイング料	

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------



領収書

2022年02月16日
No. 20220119-006

大谷陽介事務所 様

金額 ￥82,657-

但: 市政レポートvol.3 ポスティング

上記正に領収いたしました

小計	¥75,143
消費税(10%)	¥7,514

星の井堂
高橋 志穂



〒020-2831
岩手県盛岡市三本柳2-1-5



大谷ようすけ

市政レポート3号

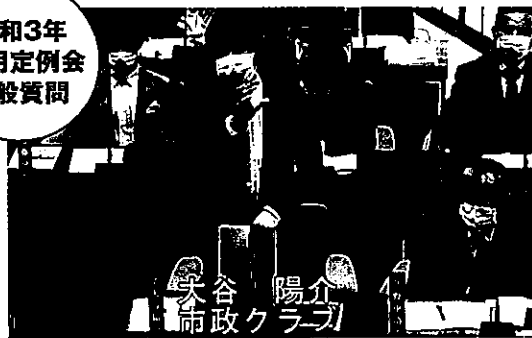
盛岡市・都南村が合併して30年 都南村出身の市議会議員として 合併協定書の中身をもう一度掘り起こす

都南村で生まれ育った私にとって、盛岡市との合併はとても大きな出来事でした。特に合併協定書の中に記されている「事務所(新市役所)の位置」については、合併を進める上で重要な意味があると思います。30年経った今、新市役所の建設地について、もう一度協定書を掘り起こし、協定書の重みを市長に再確認するため質問を投げかけました。大谷ようすけ市政レポート第3号では、12月定例会の一般質問を掲載します。

盛岡市・都南村合併30年について

合併協定書の重み、今こそ 新市役所最適地 市民と一緒に 検討する姿勢を

令和3年
12月定例会
一般質問



「都南村と盛岡市が合併するらしい、よし、これで市民になれる。住所表記も短くなる。何より村民と馬鹿にされなくなる」

当時小学生だった私は合併を心待ちにする村民の一人でありました。そんな希望に満ちた合併話も、その道のりは平たんとは言い難く、村を二分し、希望と不安の中、合併の話が進んでいったと記憶しています。当時の新聞記事でも盛岡と都南の合併への期待は大きく、昭和44年に破談という苦い経験を克服し、経済団体の強い後押しもあり、合併により盛南・盛岡駅西口開発での都市基盤整備、先進技術産業を誘致して北東北の拠点都市を目指す。と書かれています。また、都南村議会史を見ても合併までの間、多くの議論が交わされ藤村村長(当時の都南村村長)が、どのような思いで最終的に合併へと舵を切ったのかが読み取れます。

私は藤村村長が都南村の発展のために最大限尽力されたとの認識があります。その藤村村長が都南村だけの発展のみならず将来の岩手県全体を考え熟慮の結果、北東北の拠点都市盛岡の確立のため、合併は避けて通れないとの思いが強かったのではないかと思われます。その光を見つめ、盛岡及び都南地区は大きく発展を遂げると皆が思ったものです。そして平成4年4月1日、盛岡市と都南村は合併しました。

私があの合併で一番記憶に残っているのは、新しい市役所は市の南側にできるという点です。正確には合併協定書の3項目目事務所の位置に記載されている「将来的位置については、住民の利便、街づくり及び広域合併の方向を踏まえながら盛南地区を最適地として検討する」あの文言です。盛南開発は合併の中で一番の注力ポイントであり、完成すれば一番のストロングポイントになる計画です。南に流通センター、盛岡南インターを配し、交通の結節点としての役割をはたし北東北をリードする盛岡にあって、盛南開発は十分に進められたのでしょうか？ ご所見を伺います。

また、新市役所の計画はどういう経緯をたどり現在の「盛南地区も含め幅広く検討する」計画へと変わっていったのでしょうか？ ここでの市民への説明は十分だったといえるのでしょうか？ あわせてお聞

かせください。

最近の市の対応は、とりえず盛南地区の可能性も残しつつ、「やっぱり駄目でした。ほかの場所にします」との結論を導き出そうとしているようにしか見えません。

合併協定書の重みはその程度なのでしょうか？ 約束とは簡単にえられるものなののでしょうか？ 私はそうは思いません。あの合併協定書は盛岡市と都南村が合併するうえで一番重要な協定であり何より遵守されるべきものだと思います。用地取得がうまくいかなかったのであれば、近隣の地区をすぐに探さなかったのでしょうか？ そして、その経過と結果を示さなかったのでしょうか？ 仮に盛南地区以外で検討するとなったら市民はどう感じるのでしょうか？ 玉山村との合併で市域が北に延びたことを理由にするのはいかがなものなのでしょうか？ 玉山区から現市役所、盛南地区への車での移動は大きな差はなく、時間帯によっては盛南地区への移動のほうが、時間的距離が近いとのデータもあります。

合併協定書の取り決め事項を財政悪化以外の理由で簡単に反故するようなことはあってはならないと思います。その理由は、今後何かを決めたとしても、時の市長が当時の取り決めを簡単に変更されるということになりかねないからです。このような市政運営では市民は市に対する不信任、あきらめムードが出てしまうのではないのでしょうか？

都南村の住民が賛成反対で村を二分するほどの合併でした。当時を知るものとして当時期待した盛岡になるためにも、場合によっては市民から広く意見を聞き新事務所のあり方を検討するべきではないでしょうか？ ご所見を伺います。

また、合併から30年が経過しようとしています。30年を振り返り様々な成果と課題があることと思います。この間平成の大不況、東日本大震災津波の発災、そして新型コロナウイルス感染症の蔓延、不測の事態が数多く起きました。合併30年に対する市長の思いをお聞かせください。

語気を強めて質問した今日の一般質問が杞憂で終わること、あの日夢見た盛岡が現実のものとなることを願い私の一般質問を終わります。



問 新市役所のあり方について市民から
広く意見を聞くことについての所見を伺う

市長答弁

新市役所については、将来的な市庁舎整備に向けて基金を設置し、積み立てを行うとともに、庁内組織において、新しい市役所のあり方について調査・検討を重ね、令和3年度内に報告書として取りまとめる。

今後、市民アンケートの実施や、公募による市民を含めた有識者等の懇話会を開催するほか、それらの結果を踏まえて策定する「新市庁舎整備基本構想」についてもパブリックコメントを実施するなど、整備のあり方については、議員をはじめ、市民から広く意見を伺いながら検討するべきものと認識している。

問 合併30年に対する市長の思いを伺う

市長答弁

平成4年の盛岡市と都南村との合併は、21世紀の到来を迎え、急速に変化する社会経済の動向に適切に対応しながら、住民の一層の福祉向上を図り、北東北の拠点として、新しい中核都市を形成することを目指したもの。

この30年の間には、バブル経済の崩壊、リーマンショック、東日本大震災など、予期せぬ事態もありながら本市は、その地理的優位性も活かしながら、北東北の拠点として発展してきた。

その背景には、平成の大合併に先んじて合併を成し遂げ、盛南開発・土地区画整理などによる都市基盤整備や、産業等用地の整備をはじめとした企業誘致・新規創業支援などにより、生活環境の向上と産業の活性化を推し進めてきた大きな要因がある。

今後、人口減少・少子高齢化の進行により、地方都市のまちづくりは、難しい局面を迎えるものと予想されることに加え、一昨年に始まる新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により社会経済は大きな変化の渦中にある。

こうした中、新野球場や国道4号盛岡南道路の事業化、岩手飯岡駅東西線自由通路の整備など、将来に向けた投資をしっかりと実行し、ポストコロナにおいても、人がいきいきと暮らし、誰もが住みよい東北の中核都市として、さらなる発展をつづけ、未来世代に希望あふれるまちを引き継いでいけるよう、引き続き全力を尽くしたい。

問 ・新市役所の計画はどのような経緯で「盛南地区も含め幅広く検討する」計画に変わっていったのか。
・市民への説明は十分だったといえるのか。

総務部長答弁

現市役所は、平成19年度の耐震診断で「耐震性能に疑問がある」と判断され、耐震工事を実施し、延命化を図ったが、築50年を超え老朽化が進んでいるほか、防災機能面や利便性の観点等から、建て替えが課題となっている。一方、都南村との合併から約30年が経過し、玉山村との合併、道路・交通、通信環境の変化、人口減少、地方創生への対応など、本市を取り巻く状況は大きく変化している。建て替えの検討を進めるにあたっては、事務所の位置を含め、幅広く検討する必要があるものと考え、都南村との合併協定書記載の盛南地区及びそれ以外の地区も含めて、住民の利便やまちづくりなど総合的な観点から検討を進めることとしたもの。

位置を含めた新市庁舎のあり方については、広く市民の意見を聞きながら検討するとともに、市民の理解を得られるよう努めたい。

大谷ようすけの所見

質疑応答では、令和3年度内に新市役所の建設地について報告書が提出され、内容をもとに市民の皆さんに意見をいただくことと答弁がありました。都南村で育った私は「都南はよかった」という思いがあります。30年前当時、早くから福祉政策、ひとり親政策を実施していた都南村に光を感じながらも、合併への期待がありました。

合併協定書には「盛南地区を最適地とする」の文言があります。新市役所が盛南地区にできると信じ、本宮に住み始めた方もいたのではないのでしょうか。

内丸か、盛南地区かという話が出ている中、どの場所に建ててもそれぞれの意見が出るものです。一番良くないのは、議論しないで進めてしまうこと。市民が「気づかなかった」ということがないように。また「情報を掴みにこない市民が悪いんだ」ではなく、市民の皆さんと、ぜひ新市役所のあり方について「一緒に検討していきましょう」という姿勢を強く見せて欲しいと思います。

新市役所が内丸から移転することになった場合、跡地は、盛岡城跡公園、桜山を含めた観光公園にするなど、子供たちが「盛岡いいよね」と思えるような夢のある構想がほしいと思います。これからも新市役所については注視していきます。

大谷ようすけの提案

攻める! 守る! 二刀流!

攻める!



守る!



スポーツ振興

市民全体で取り組むスポーツ、観るスポーツ、新しいスポーツを普及促進し、明るく元気な盛岡を実現します。

医療・福祉の安心

病気の予防を最優先にし、病気や障がいを抱えても安心して暮らせるよう、医療・福祉の体制を守ります

守る!



攻める!



農業と地域の絆

農業者の高齢化と農業地域からの人口流出が進む中、農業や地域の絆を守る活動を支援します。

次世代の育成

未来の盛岡を担う世代が健やかに育ち、存分に学べるよう、育児支援と教育環境の充実に注力します。

大谷陽介プロフィール

昭和52年6月2日 盛岡市(旧都南村) 生まれ

- 学歴: 津志田小学校→見前中学校→岩手高校
- 令和元年8月、盛岡市議会議員選挙初当選
- 委員会: 総務常任委員会副委員長 議会運営委員
- 家族: 妻、子ども3人。大谷翔平選手とは親戚関係
- 幼少期から野球・サッカーに励む。スポーツが大好き

大谷ようすけ事務所

〒020-0831
岩手県盛岡市三本柳4-4-33
TEL/FAX 019-618-8478
[Email] 210ryu.ohitani@gm

Facebook



少年野球チームの練習のひとつ